

「サステナブル」をテーマにした全館企画を今年も開催！
サステナブルアイテム購入で10%ペイバックやコスメの下取り、様々なイベントも開催
“CYCLE shibuya parco sustainability”
期間：2022年3月18日（金）～3月27日（日）



渋谷PARCOでは、昨年に引き続き、2022年3月18日（金）～3月27日（日）の期間**“サステナブル”をテーマにした全館企画「“CYCLE shibuya parco sustainability”**を開催いたします。

長く持続可能な“サイクル(循環)”を作り、“サステナブル(持続可能)”な基盤をつくることは、最先端のファッションに欠かせないキーワードとなっています。渋谷PARCOは“環境に配慮した次世代型ファッションビル”として、エネルギーの効率的利用促進など“サステナブル”をテーマとした活動を継続推奨しています。

今年2月には、社会プロジェクト「SKWAT」と連携し、持続可能な新しい売り場を目指して4Fにサステナブルをテーマにした「VCM MARKET BOOTH」をオープンしました。それに続く第2弾の企画として「“CYCLE shibuya parco sustainability”」を開催します。

今年のビジュアルは“循環”をテーマに、白昼夢のようないつかの記憶を“見たままではない写真”として表現するフォトグラファー瀧本奏を起用しました。期間中は、2F・連絡通路でアート作品も展示します。

「CYCLE」期間中、本テーマに関連したイベントを多数開催予定。渋谷PARCO館内の環境負荷を考慮したサステナブル商品を含む5,000円以上をポケパル払いのお買い物で10%還元する「グリーン ペイバック キャンペーン」や、不要なコスメをご持参いただくと500円分のコスメ優待券を贈呈するコスメ下取りキャンペーンを実施。さらに、特別ゲストを迎えてのトークイベントや、ヨシモト∞芸人を中心に展開するフリーマーケット「ヨシモトオクジョウフリマ」、地産地消をテーマにした「TANIGAKI FES」、昨年10月に好評を博した、ヴィンテージ総合EC「Vintage Collection Mall」が開催する「VCM MARKET」の第2弾も開催予定です。また、世界中から集めた古書を扱うCOWBOOKSの移動書店が1F店頭にて期間限定オープンします。また同時期に、「H& by POOL POP UP STORE」をはじめとしたサステナブルをテーマにしたPOPUP SHOPもオープンします。

<キャンペーン概要>

- **タイトル：**“CYCLE shibuyaparco sustainability”（サイクル シブヤパルコ サステナビリティ）
- **会期：**2022年3月18日（金）～2022年3月27日（日）
- **場所：**渋谷PARCO
- **特設WEB：**<https://Shibuya.parco.jp/feature/detail/?id=4623>

<イベント詳細>

■グリーン ペイバック キャンペーン



渋谷PARCO館内にて、専用タグが付いている「サステナブル関連商品」を含む5,000円(税込)以上をポケパル払いでお支払いいただくと、10%ペイバックします。
 ※対象商品は各店舗にご確認ください。
 ※5,000円毎に500円分のお買物券を進呈。(先着500名様)
 ※ペイバックの上限は5万円分のお買い物まで。
 ※引換はお一人様一回限り。 ※同一ショップでのみ合算可。

- 期間：3月18日(金)～3月27日(日)
- 引換場所：5F PARCO セゾンカウンター

■コスメ下取りキャンペーン



不要なコスメを会場に持参で、館内コスメ店舗で1会計3,000円以上でご利用頂ける500円分の渋谷PARCOコスメ優待券を1点につき1枚進呈。
 ※お一人様3点まで ※各日先着100名様

- 期間：3月19日(土)～3月21日(月祝)
- 引換場所：4F 特設会場
- 下取り対象アイテム：
ファンデーション、コンシーラー、口紅、アイライナー、アイペンシル、アイブロウ、アイシャドウ、マスカラ、リップクリーム、リップグロス、マニキュア、チーク
- ※下取り対象外：基礎化粧品(化粧水・保湿クリーム等)、スプレー類、除光液、コスメサンプル、ヘアケア用品、ボディケア用品他、完全に使い切った空容器
- お買物券対象店舗：館内コスメ店舗
(DIOR BEAUTY SHIBUYA、shu uemura、Yves Saint Laurent Beauté、IPSA、OFFICINE UNIVERSELLE BULY AU MUSEE DU LOUVRE、KIEHL'S、BYREDO、OFFICINE UNIVERSELLE BULY SHIBUYA、Santa Maria Novella、CLARINS)
- ※下取りさせていただいたコスメは国際社会支援推進会「ワールドギフト」を通じ再利用・途上国支援に役立てられます

■CYCLE TALK EVENT



執行役員WWDジャパン編集統括サステナビリティ・ディレクター 向千鶴氏の他、特別ゲストを迎え、サステナビリティをテーマにしたトークイベントを開催します。

- 日時：3月18日(金) 19:00～21:00
- 場所：9F「DOMMUNE」
- 出演者：向千鶴(執行役員WWDジャパン編集統括サステナビリティ・ディレクター)、他
- 聞き手：宇川直宏
- ※内容は予告なく変更になる可能性があります

■ヨシモトオクジョウフリマ



よしもと芸人が私物を持ちよったフリーマーケット。衣類や雑貨はもちろん、小道具やアート作品、過去のレアグッズなど、思わぬ掘り出し物に出会えるかもしれません。吉本らしいワクワクが詰まったフリーマーケットです。
 出展芸人の情報は公式twitterにて発表いたします。

@YoshimotoReuse
<https://twitter.com/YoshimotoReuse>

- 期間：3月19日(土) 12:00～18:00
- 場所：10F「ROOFTOP PARK」

<イベント詳細>

■ TANIGAKI FES



兵庫・但馬のローカル酒場「Tanigaki」による都市と地方との垣根を超えた食と音楽のフェスティバル『TANIGAKI FES』を渋谷PARCOにて初開催いたします。

「Tanigaki」は、兵庫県北部に位置する但馬地方で、城崎温泉を中心にローカルと観光客、移住者とが交わり人気を博している注目のエリアで、「EAT LOCAL LOVE YOUR NEIGHBOR」をコンセプトに、リアルなローカルエリアからさまざまな食にまつわるコト・モノを発信し、新たな価値を生み出し続ける話題の飲食店です。

会場には、地元関西の人気店や「Tanigaki」と交流の深い今とときめく食のカルチャーが大集結！地元・但馬丹後の素材と各ショップとのコラボレーションも要注目です。さらには、豪華DJによるパフォーマンスも必見です。

- 期間：3月20日(日)～3月21日(月祝) 11:00～20:00
- 場所：10F「ComMunE」

<出店者>

Tanigaki (兵庫) ワインのおつまみプレート/OFF (兵庫) ナチュラルワイン、ドリンク/ 井上茶寮 (兵庫) カスレ羊羹、お茶/ エスキーナ (兵庫) 焼菓子/CIRCLE&LINE (兵庫) キャンドル、輸入雑貨/TAREL (京都) コーヒー/WHY! (横浜) 看板、似顔絵、グッズ販売/青果ミト屋 (横浜) KIKI NATURAL ICECREAM/HAPPY HOUR (東京) サラダ/USHIOCHOCOLATL (尾道) チョコレート/sunuser&但馬丹後の道の駅 (兵庫) 地元のスペシャルマーケット

※ 単日のみ出店店舗有、詳細はHPをチェック



TANIGAKI

兵庫県但馬発「EAT LOCAL LOVE YOUR NEIGHBOR」がコンセプトの地域に根差したローカル酒場。自然豊かな恵みをさまざまな食を通じて発信していくプロジェクトや商品開発、イベントやpop upなどの活動も多数行なっている。都市と地方との垣根を超えた一年に一度のフェスティバル『タニガキフェス』は年々大きな反響があり全国にファンを拡大し続けている。

<アーティスト情報>



Mars89

妥協のないエレクトロニック・ミュージックで、東京のアンダーグラウンド・クラブシーンで最もユニークでエキサイティングな存在として知られている。2008年に10代後半で東京に移住して以来、世界で最も人口の多い都市のひとつで生活することの難しさについて、あらゆる形で表現する人物として地位を確立してきた。音楽以外では、UNDERCOVERの高橋盾とのコラボレーションプロジェクトでミラクルウェアを解体し、真のパンク精神で反戦を訴えるコレクションを発表したほか、同ブランドからレコードもリリース。東京のアクティビストコミュニティの重要な存在でもあり、Protest Raveでは、サウンドシステムを積んだトラックでハードテクノを鳴らしながら東京の象徴的な景色の中を走り抜け、若者に政治的活動への参加を促している。



Nari (CYK TOKYO)

2016年より東京を拠点に活動。東京ハウス・カルチャーの特異点として飛躍目覚ましいコレクティブ『CYK』の一翼を担う。CYKとしてMall Grab、Baba Stiliz、C'est Qui、Avaron Emerson、Nachtbrakerといった気鋭の招来を行うほか、国内各地の同世代DJとの共演をオーガナイズするなど数々の熱狂的なパーティーを生み出してきた。また2021年において鎗矢となったRainbow Disco Club 2021でのアクトや、呼吸を置かずして同年11月に驚異的な盛況を見たCYK 5th Anniversaryのオーガナイズを成功させるなど、世代の牽引役として明確な足場を構築し始めている。

■ 日本最大級の“ヴィンテージ総合ECモール” VCMによるリアルイベント「VCM MARKET」第2弾！



日本最大級のヴィンテージ総合ECモール“Vintage Collection Mall (VCM)”がリアルイベント「VCM MARKET」Vol.2を開催！ファッション・ライフスタイル・インテリアなど様々なジャンルの人気ヴィンテージショップが約30店舗ほど集まり、世界各地の厳選した1点物のヴィンテージが大集結いたしました。海外のマーケットを彷彿させる注目のイベント第2弾をお楽しみに。

- 期間：3月25日(金)～3月27日(日) 11:00～20:00
※3月25日(金)のみ13:00オープン
- 場所：10F「ROOFTOPPARK」



<イベント詳細>

■traveling COWBOOKS in SHIBUYA PARCO



世界中から集めた選りすぐりの書籍を扱う中目黒の古書店「COWBOOKS」の旅する本屋「traveling COWBOOKS」が渋谷パルコに初登場します。
※荒天中止

期間：3月19日(土)～3月20日(日) 11:00～18:00
場所：1F・公園通り前広場

■Panasonicもサステナブルキャンペーン「CYCLE」に共感し、初参加
「衣類ケア」をテーマにしたPRポップアップスペース「長く着るプロジェクト」が登場



適切なケアやリペアするなどの工夫で、今持っている服を長く大切に着ることが廃棄量の削減に繋がります。
持続可能な「衣類ケア」をテーマにしたPRポップアップブースをパナソニックが展開。
スタイリスト 谷崎彩さんによるレクチャーも予定。

期間：3月26日(土)～3月27日(日) 11:00～20:00
場所：4F 特設スペース

※リリースに記載に全ての内容は予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：日出・岸本・西野
E-mail：parco@vectorinc.co.jp TEL：03-6821-5730 FAX：03-5572-6065

株式会社パルコ 渋谷店営業課 深見 fuka-sayu@parco.jp

※各ブランドの画像をご使用の場合にはご連絡頂きますようお願い致します

<ビジュアルについて>

CYCLE —shibuya parco sustainablyt—
渋谷PARCOが掲げる“サステナビリティ” 地球と未来に光ある「循環」を今



本ビジュアルは、“循環”をテーマに、白昼夢のようないつかの記憶を「見たままではない写真」として表現する、フォトグラファー濱本奏を起用。「地球の限りある資源を大切に循環させ、地球の美しい景色と環境を未来に繋げる」を掲げ、砂の彫刻家である保坂俊彦が宮城県東松島市野蒜海岸を舞台に、自然界に存在する物質“砂”と“水”のみで象徴となる「希望の城」を制作しました。砂に溶け込みきらめく陽光、揺らぎ瞬く青の水面…自然の移ろいの光景に寄り添いながら、ストーリーを展開します。ロゴデザインは、3DCGのオブジェクトを用いたグラフィックを八木幣二郎が担当しています。

会期中、渋谷PARCOエントランスでのビジュアル公開と同時に、2F連絡通路でもアート作品が出現します。印刷用紙の中で唯一、WFTO（世界フェアトレード機関）認証を受け、またSDGs17つのゴール全てに紐づくという特徴の「One Planet Paper®」を採用し制作。展示終了後にはアート作品の環境印刷「CO2ゼロ印刷」を担った株式会社大川印刷がCO2ゼロ配送でリサイクル回収し、古紙や段ボール、トイレトペーパーとして、作品が新たに生まれ変わる予定です。

※「One Planet Paper®」

従来は廃棄されてしまうアフリカ・ザンビアのオーガニックバナナの茎から取ったバナナ繊維を原料とし、日本の和紙の伝統技術を用いて作られた、繊維の処理、輸送、紙の抄造に発生したCO2をオフセットしたの日本初のフェアトレード認証の用紙です。

Photographer : Kanade Hamamoto, Sand Sculptor : Toshihiko Hosaka, Graphic Designer : Heijiro Yagi, Cinematographer : Hana Shimizu, Lighting Director : Hitoshi Sato, Lighting A assistant : Yuki Kawashima, Sound : Ohzora Kimishima, Stylist : Miri Wada, Model : Minori Suzuki

PRODUCED BY : RIDE MEDIA&DESIGN inc., PARCO

<プロフィール>



濱本 奏

2000年生まれ。神奈川県鎌倉市を拠点とし、写真を表現の軸に活動。
2019年「reminiscencebump」、2020年「middayghost」出版（hitopress）、
「middayghost」（OMOTESANDOROCKET・STUDIOSTAFFONLY）、2021年
「VANISHINGPOINTexhibitioninliminalzone」進行中

<https://www.kanadehamamoto.com>

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：日出・岸本・西野
E-mail : parco@vectorinc.co.jp TEL : 03-6821-5730 FAX : 03-5572-6065

株式会社パルコ 渋谷店営業課 深見 fuka-sayu@parco.jp TEL : 03-6712-7151

<POP UP >

H & by POOL POP UP STORE / 皆川明監修「IDÉE」のサステナブルなアパレルシリーズ



「H & by POOL」は、「IDÉE」が2015年にスタートしたプロジェクト「POOL」から生まれた新しいアパレルシリーズ。「minä perhonen」のデザイナー 皆川明氏監修のもと、行き場無くした残反や残糸、端切れなどを集め、日本のものづくりの技術とクリエイションにより、洗練されたウェアへと“リファイン”。生産者とお客様を繋ぎ、生産背景も丁寧に紡ぐ取り組み。期間中は、新作コレクションを中心に、「H & by POOL」に共感するアーティストの作品を店頭で紹介します。2022年3月11日（金）21時10分頃から「IDÉE」公式Instagramアカウント(@lifewithidee)にて、皆川明氏とのトークライブも配信予定。

- 期間：2022年3月11日（金）～3月21日（月）
- 場所：1F「The window」

SUNS RIVER by MADE IN BANZAI | 気鋭クリエイター達による新たな価値を見立てる限定ショップ



クリエイティブスタジオ「MADE IN BANZAI」による期間限定ショップ「SUNS RIVER」がオープン。“創造性の循環と新陳代謝を促すこと”を目的に、クリエイターやアーティストのコミュニケーションプロジェクトおよびプラットフォームとして、古道具や価値を見出された蒐集物、アップサイクル品、オブジェなどを展示販売します。

- 期間 2022年3月18日（金）～ 3月24日（木）
- 場所 2F BRIDGE

BAGGU | カリフォルニア発！ リサイクル素材のカラフルエコバッグ



カリフォルニア発のバッグブランド「BAGGU」が、POP UP SHOPを開催。スーパーのレジ袋を原型にした、シンプルでカラフルなりサイクルナイロン素材のエコバッグをバリエーション豊富にラインナップ。2022SSより、100%リサイクルナイロンにアップデート。さらに今年はブランド15周年を記念して、人気プリントの復刻や限定商品、プレゼントキャンペーンも多数展開します。

- 期間：2022年3月18日（金）～ 3月27日（日）
- 場所：1F POPUP SPACE

サステナブルクローゼット | エシカルを実現する3ブランドが集うリミテッドショップ



エシカルなものづくりにおいて追及される手法には、多様な可能性が広がる。そんな可能性を体現した3つのブランド「Annut」「MALIBUSHIRTS」「WA.CLOTH ESSETIAL」が一堂に会するリミテッドショップ「サステナブルクローゼット」が開催中。製造過程に廃棄される材料や、海洋に漂うゴミからアップサイクルされた生地、環境負荷が抑えられた植物から作られる紙糸など、多岐にわたる試みから生まれた商品を通じてそれぞれのブランドが考えるエシカルなアパレルへのアプローチに触れてみたい。

- 期間：2022年3月9日（水）～ 3月27日（日）
- 場所：5F POPUP SPACE

【参考資料】各ショップ展開アイテム・サービス

<1F： SHÔTENGAI-EDIT-TOKYO>

■ 1F・GUCCI／環境配慮型の画期的な新素材を採用した「Gucci Off The Grid」コレクション



環境に及ぼす影響に配慮してデザインされた「Gucci Off The Grid」コレクションから、新作のトラベルグッズが登場。素材には、漁網用の網や古いカーペット、廃材などを原料とする再生ナイロン糸“ECONYL®”をはじめ、オーガニック素材やバイオベース由来の原料を用いている。さらにバッグのトリミング部分には、非動物性・再生可能な新素材“Demetra”を採用。自由に組み合わせられるコンテンポラリーなアクセサリーを、イエローやブルー、オレンジ、ブラックといったエナジーギッシュなカラーバリエーションで取り揃える。

(写真上) キャリーオンバッグ ¥302,500、パッキングケース ¥70,400
(写真下) バックパック ¥225,500、ガーメントケース ¥195,800

ショップ名：GUCCI
お問い合わせ先：0120-99-2177

■ 1F・LOEWE／“高機能×クラフトマンシップ”の融合。大自然をイメージしたカプセルコレクション



「LOEWE」から、スイスのパフォーマンスブランド「On」との限定カプセルコレクションが到着。「On」のトレイルランニング用シューズをベースにした13種類のスニーカーには、リサイクルポリエステル製のアッパーや、オリジナルのラバーアウトソール“Missiongrip™”、ミッドソールに隠された“Speedboard™”プレートなど独自技術を随所に採用した。さらに、日本の刺し子をモチーフに夜の星空を想起させるプリントを手作業で施した機能性ウェアも豊富にラインナップ。本コレクションのパッケージも、すべてリサイクル原料で製作され、空と海にインスパイアされたオーガニックなカラーリングとともに、“高機能×クラフトマンシップ”という両者共通のビジョンを表現した。

ショップ名：LOEWE
お問い合わせ先：03-6416-3037

■ 1F・discord Yohji Yamamoto／山本耀司直筆のシグネチャーが施された、特注の今治タオル



「最大限の安全と最小限の環境負荷」を理念に掲げる今治のタオルブランド「IKEUCHI ORGANIC」との協業により、「YOHJI YAMAMOTO TOWEL」が新たにお目見え。メイドインジャパンのモノづくりに徹底的にこだわった高品質なアイテムは、オーガニックコットンやバンブーレーヨンを使用し、黒の濃度を最高レベルに上げることで、吸水性を維持しながらも色落ちしにくい仕様に。サイズ、カラー、劣化しにくいパイルの長さなど細部に至るまで、完成度を追求した。特にソファーカーバーやタオルケットにもなるラージバスタオルは、山本耀司直筆のシグネチャーを施した特注サイズ。アイデンティティーである“黒”の世界観を、ライフスタイルでも堪能できる。

ショップ名：discord Yohji Yamamoto
お問い合わせ先：03-6416-5418

【参考資料】

■ 1F・Yves Saint Laurent Beauté／「リサイクルプログラム」体験で気持ちまで美しく



「Yves Saint Laurent Beauté」では、リサイクルプログラム“DARE TO RECYCLE”を実施。毛穴悩みにアプローチする「ピュアショットナイトセラム」などの人気美容液やクリームのリフィル製品の購入、使い切ったパッケージの持参、ノーショッピングバッグのアクションに応じて、特別なギフトと交換可能なYSLポイントが付与される。各製品にはエコデザインのパッケージが使用され、植物原材料を生産するモロッコの庭園では、地域に暮らす女性たちの経済的な自立支援が行われている。その取り組みは持続可能性の高いラグジュアリーブランドに贈られるパタフライマーク認証を取得するほど。サステナブルな背景を持つスキンケアは、気持ちまで美しくすこやかに整えてくれる。



(写真上) 左から、ピュアショットナイトセラム (30mL) ¥12,650、ピュアショットクリーム (50mL) ¥14,300、ピュアショットナイトセラム (50mL) ¥16,170

ショップ名 Yves Saint Laurent Beauté
お問い合わせ先 03-3461-5575

<2F : MODE&ART>

■ 2F・A.P.C.／コレクションの残布を再利用した、オリジナルトートバックをプレゼント



「A.P.C.」では、本質的なエレガンスを主張したメンズ・ウィメンズコレクションをフルラインナップする他、キャンドルやルームスプレーなどのライフスタイルアイテムも展開している。期間中は、33,000円（税込）以上ご購入の方に残布を再利用した、1点1点表情の異なるトートバッグのノベルティを先着順でプレゼント。また、ブランドの基準をクリアした穿き古しの定番リジッドデニムを店頭を持ち込むと、新品デニムを半額で購入できる「バトラープログラム」は通年通して展開されている。回収したデニムはクリーニングとリペアを施し、元所有者のイニシャルが直筆で記された後、再びショップに並び、「デニム」が次の人へと受け継がれる、循環のプログラムだ。

ショップ名：A.P.C.
お問い合わせ先：03-6416-0036

■ 2F・ISSEY MIYAKE SHIBUYA／「IM MEN」の「FLAT」シリーズから植物由来の新作が登場



「ISSEY MIYAKE」のブランドがボーダレスに集まる渋谷PARCO店では「IM MEN」の「FLAT」シリーズが新作として登場。袖を通すと身体に沿った美しいシルエットが現れ、収納時はプレスされたラインに沿って折りたたんで持ち運べるというユニークなアイテム。コンパクトな機能はそのままに、今回のモデルでは袖の形をより立体的にアップデート。さらに植物由来のポリエステル素材で、たたみやすくシワになりにくい。コートやブルゾン、同素材のパンツとセットアップで楽しむことも。「着る・収納する・運ぶ」といった日常生活のさまざまなシーンで、今までにない“服の体験”を提案する。

ショップ名：ISSEY MIYAKE SHIBUYA
お問い合わせ先：03-5422-3540

【参考資料】

■ 2F・k3 / ファッションラバーに向けた「環境配慮」の新しいかたち



「k3」では、サステナブルとファッション性を両立する独自のアイテムを多数展開。リサイクルポリエステル100%をニットアッパーに採用している「NODOKNITS」とは、メタリックなローヒールが目を引き別注モデルを制作。古いストッキングを原料としたレッグウェアブランド「Swedish Stockings」との取り組みとして、店頭や、3階4階の女性レストルームには使えなくなってしまったストッキングや靴下を回収する「SWE-S回収ボックス」を設置。回収されたストッキングは100%リサイクルされ、新しい素材に生まれ変わる。ほかにも渋谷PARCO店限定で、k3&co. ディレクターKojima Reiko氏がセレクトしたヴィンテージアイテムを「G.V.G.V.」やインポートアイテムとミックスさせてスタイリング提案をするなど、環境配慮についてもエッジの効いた価値観から発信し続けている。

ショップ名 : k3
お問合わせ先 : 03-6416-9181

■ 2F・beautiful people / こだわりを凝縮した「GOTS」認証の定番トレンチ

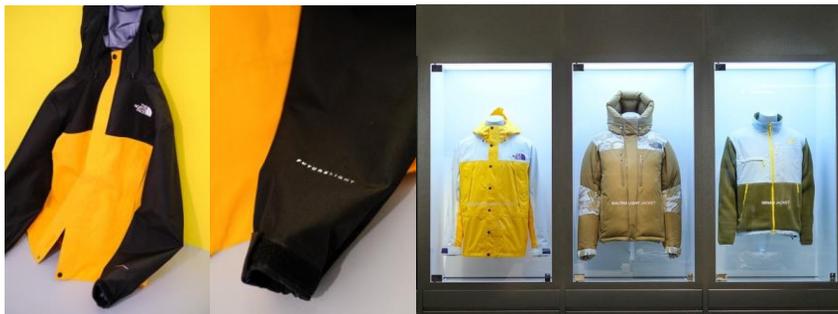


定番ライン「THE / a beautiful people」のトレンチコートは、世界に誇れるオーガニックコットン“アルティメイトピマ”を採用。アメリカの指定農家で手間をかけて栽培された綿花は、希少性が高く、世界基準の「GOTS」認証も取得する。特殊な紡績により、肉感がありながらも軽さを兼ね備えた仕上がりを実現。何度洗っても色落ちしにくい“スレン染め”により、ヴィンテージのような色の深みを表現した。さらに高密度の裏地や身体の曲線に沿った縫製、シルエットなど、この1着に並々ならぬこだわりを凝縮。デザイナーの想いを詰め込んだモダンで普遍的なアイテムを、数十年先まで大切に着こなしたい。

ショップ名 : beautiful people
お問合わせ先 : 03-6452-5622

アルティメイトピマ THE/a トレンチコート ¥ 149,600

■ 2F・THE NORTH FACE LAB / 愛着のあるプロダクトで「永く共にする」アクションを



リサイクル素材や環境負荷の少ない加工はもちろん、永く大切にしたいと思えるプロダクトを意識的に選ぶことも、サステナブルな取り組みのひとつだ。「THE NORTH FACE」では、リサイクル可能な繊維を採用した、環境配慮型アイテム「FL DRIZZLE JACKET」から新色オレンジが登場。また、渋谷PARCO店では定番アイテムのカスタマイズサービス“141 CUSTOMS”を都内で唯一体験することが可能。3Dスキャニングやカウンセリングによって、ボディから生地、配色、パーツまでを細かく選ぶことができ、専門スタッフが1着ずつ丁寧に制作してくれる。

ショップ名 THE NORTH FACE LAB
お問合わせ先 03-6455-0586

【参考資料】

■ 2F・MARC JACOBS／人気アイコン「THE TOTE BAG」からアーカイブがカムバック



「MARC JACOBS」から、人気アイコン「THE TOTE BAG」のアーカイブが再登場。小花柄プリントから、1点ずつ染め上がりの異なる鮮やかなタイダイ、レオパードプリント、さらにはアーティストコラボまで。ポップでユニークなデザインが、春夏の気分を盛り上げてくれる。コンパクトなルックスながら、ミニサイズはロングウォレットやペットボトル、スモールサイズはA4のノートやPCも入るほど収納力も抜群。別売りのストラップで印象の変化も自在にカスタムできる。

(写真上) MAGDA ARCHER X THE SMALL TRAVELER TOTE BAG ¥36,300、THE TIE DYE SMALL TRAVELER TOTE BAG ¥36,300

(写真下) THE LEOPARD MINI TRAVELER TOTE BAG ¥30,800、THE DITSY FLORAL MINI TRAVELER TOTE BAG ¥30,800



ショップ名 MARC JACOBS
お問い合わせ先 03-6427-8416

■ 3F・HAT MAKER KIJIMA TAKAYUKI／501®をアップサイクル。デニムの多様性を提案



「KIJIMA TAKAYUKI」では、リーバイス® 501®のユーズドストックをアップサイクルさせる「デニム de ミライ～DENIM PROJECT～」の一環として、バケットハットとキャップを制作。“Except for indigo (インディゴを取り除く)”をテーマに、スーパーブリーチでホワイトに、もう一方で染めてブラックにした帽子は、経年変化が極めて少なく、デニム特有のアタリや色落ちとは一味異なる魅力を楽しめる。クリーンなイメージで、スタイリングの汎用性も抜群。デニムの多様な可能性を提案してくれる。また、レシピをシェアすることで、デニムの多様な可能性を発信している。

(写真上) BUCKET HAT 各¥24,200、(写真下) BB CAP 各¥22,000



ショップ名：HAT MAKER KIJIMA TAKAYUKI
お問い合わせ先：03-5422-3454

■ 3F・PUEBCO／ユーズドのパラシュートをアップサイクル。バッグ購入でポーチプレゼント



本来の使用価値をなくしてしまったヴィンテージやユーズドのマテリアルに、新たなアイデアを吹き込む「PUEBCO」。マーケティングは意識せずに、本当に作りたいモノを納得がいくまで追及するユニークなものづくりはヨーロッパやアジアを中心に約30カ国で展開されている。渋谷PARCO店では、期間中にユーズドのパラシュートを使ったバッグの購入で、店頭で販売もされている同素材のポーチをプレゼント。素材に使用した実際のパラシュートも展示され、アップサイクルの過程をリアルに感じることができる。

(写真下左) VINTAGE PARACHUTE LIGHT BAG ¥3,300、
(写真下右) VINTAGE PARACHUTE LIGHT POUCH [Small] ¥880



ショップ名：PUEBCO
お問い合わせ先：090-6512-0529

【参考資料】

■ 3F・CASETiFY STUDIO / 地球にやさしい在り方を追及したスマホケース



「CASETiFY」では、豊富なスタイルと耐衝撃性に優れたアイテムに加え、環境配慮したテックアクセサリをラインナップ。竹や植物繊維で出来た100%堆肥化可能なコンポストブルケースを含む原材料にリサイクル素材を使用したiPhone 13シリーズ対応のスマホケースなど地球にやさしいエコフレンドリーなアイテムを展開。この取り組みはパッケージにもリサイクル素材や再生可能な素材を使用するほど。また、店頭では使わなくなったスマホケースを回収し、アップサイクルするプログラム「RECASETiFY」を実施。他メーカーのスマホケースも回収を受け付けており、利用者には次回のお買い物物が15%オフになるクーポンが配布される。

ショップ名：CASETiFY STUDIO
お問合わせ先：03-6427-0720

■ 3F・FRED PERRY / ブランドを象徴する名品「フレッドペリーシャツ」を持続可能なマテリアルに



1950年代に誕生して以来、変わらずイングランド製にこだわり生産されているアイコンシャツ「M12」。英国のサブカルチャーからアスリートまで、数々のスターをインスパイアしてきたユニフォームは、サステナブルに進化を続けている。現代風にアレンジした「M3600」「G3600」は、持続可能性を証明する「BCI（ベター・コットン・イニシアチブ）」の認証を受けたコットンを使用し、タイトフィットなシルエットにアップデート。豊富なカラーバリエーションで、約70年続くアイデンティティをクールに楽しめる。

(写真) THE FRED PERRY SHIRT [G3600/M3600] 各¥10,450

ショップ名：FRED PERRY
お問合わせ先：03-6455-2570

■ 3F・DENHAM / イタリア老舗メーカーによるGOTS認証デニム



創業当初からエコフレンドリーな取り組みを続けるアムステルダム発の「DENHAM」では、イタリアの老舗デニムメーカー、カンディアーニ社のテキスタイルを採用したアイテムが登場。取得が極めて難しいとされるGOTS (global organic textile standard) の国際認証を受けたオーガニックコットンを、さらに糸の表面のみをインディゴで染め上げることで、通常のデニムよりも水や化学薬品、エネルギーの使用量を削減した洗い加工を施している。期間中は、カンディアーニ社のデニムを使ったヴィンテージ加工デニム「BOLT SW」もしくは、ハイライズのガールフレンドフィットデニム「MARGOT FMNWLII」を購入した方に、「DENHAM」のオリジナルトートバッグをプレゼント。

ショップ名 DENHAM
お問合わせ先 03-6416-3058

【参考資料】

<4F : FASHION APARTMENT>

■ 4F・VCM MARKET BOOTH / 日本最大級の「ヴィンテージEC」がリアルショップをオープン



デザイン・設計事務所『DAIKEIMILLS』を中心に発足した社会プロジェクト「SKWAT」とグラフィックデザイナー加瀬透氏との共同プロジェクト「4202122」が始動。その第1弾として「持続可能な新しい売り場」を掲げた日本最大級のヴィンテージECモール「VCM MARKET」が渋谷PARCOに初のリアルショップをオープン。サイト内の約90店舗から常時複数ショップが出店&定期的に入れ替わる同店では、個性溢れるショップの世界観をひとつの空間で楽しめる。グランドオープン時には、アメリカとカナダを拠点とする「Gleeful」「dracena」「HOLIDAYWORKS」などが参加し、その名店揃いのラインナップは必見。「価値あるヴィンテージアイテムを“ネクストラグジュアリー”として後世に残していくこと」をテーマに、新たな古着の可能性を発信する。

ショップ名：VCM MARKET BOOTH
お問い合わせ先：03-6416-4563

■ 4F・SOLE JACK / シューリペアで、さらに愛着のある一足にカスタマイズ



愛着のあるシューズは、ソールのリペアをすることで永く大切に楽しみたい。「SOLE JACK」では約300種類以上のパーツの中から、好みのソールやハーフラバーをカスタマイズすることが可能。特に渋谷PARCO店は、耐久性や優れた機能性を誇るVibram社ソールの取り扱いが日本一。スポーツやアウトドアで、パフォーマンスを高めるためのソールカスタマイズなどにも対応し、こだわりを詰め込んだオリジナルの一足に仕上げることができる。

ショップ名：SOLE JACK
お問い合わせ先：03-6416-9289

■ 4F・RINKAN / ブランドアイテムの買取から、サステナブルな「循環」に繋げよう



“リユース”という選択肢も、サステナブルな「循環」を促すひとつのかたちだ。ブランドアイテムの買取・販売を行う「RINKAN」初の買取専門店では、専門知識を持ったスタッフが1点1点丁寧に査定。さらに写真を撮ってLINEから送るだけの手軽な無料査定も実施している。期間中、¥5,000毎の買取り成立で、渋谷PARCOで使える¥500分クーポンを配布。使わなくなってしまったけれど「捨てる」には抵抗のあるブランドバッグや洋服も「誰かに引き継ぐ」ことで、新たな価値を持たせてあげることができる。

ショップ名：RINKAN
お問い合わせ先：03-6416-5869

【参考資料】

■ 4F・Licue & Sneakers／プロによる洗濯メンテナンスで「良いモノを永く大切に」



100%水洗いのクリーニングブランド「Licue」と、日本初のスニーカーウォッシュ専門ブランド「& Sneakers」による複合店では、衣類もスニーカーのクリーニングもその道のプロが担当。アイテムへのダメージが少ない水洗いは、従来のドライクリーニングでは落としきれない油性や水溶性の汚れまですっきりと落とし、新品のような仕上がりを叶えてくれる、エコでサステナブルな洗濯方法だ。また、石油系の有機溶剤を一切使わない水洗いで洋服クリーニングサービスも実施。「永く大切に使う」習慣を実践するには、プロによる定期的なメンテナンスが欠かせない。

ショップ名：Licue & Sneakers
お問合わせ先：03-5422-3452

■ 4F・ADAM ET ROPE' FEMME／蚤の市も同時開催！環境配慮の春夏トレンドアイテムが入荷



「ADAM ET ROPE' FEMME」では2022年3月11日（金）～27日（日）の期間、バイヤーたちがセレクトした選りすぐりのアーカイブアイテムをスペシャルプライスで販売する“アダム エ ロペ 蚤の市”を開催。どんなラインナップになるのかは、当日までのお楽しみに。また期間中、店頭ではサステナブルな素材を用いたアイテムも多数展開。生産時に生じる工業廃水をろ過・再利用することで、環境負荷を減らした「COTTON USA」認証のデニムスラックスやスカート、リサイクルポリエステル糸を100%使用したワイドスリーブブルゾン、インドのオーガニックコットンとポリエステルを用いたボーダーニットなど。どれも環境に配慮しながらトレンド感も楽しめるアイテムが、春夏の気分を盛り上げてくれる。



ショップ名 ADAM ET ROPE' FEMME
お問合わせ先 03-6712-7652

■ 4F・SNIDEL／リサイクルコットンを用いた地球にやさしいロゴTシャツ



「SNIDEL」では、リサイクルコットンを用いたロゴTシャツを3月中旬に発売。伸縮性のあるやわらかな素材は、紡績工場や縫製工場で廃棄されていた綿の裁断くずや落ち綿、回収された衣服を原料としているため、地球にも優しい。また渋谷PARCO店は、内装にエコ・リサイクル素材を多用した次世代型ストア。蛍光灯やブラウン管の廃材から生まれた什器、リサイクル素材にオニキスや無垢材を調和させた床や壁など、シンプルかつミニマムな店内に遊び心を加えて、女性らしく洗練された洋服の魅力を引き出している。

ショップ名 SNIDEL
お問合わせ先 03-5422-3595

【参考資料】

■ 4F・LILY BROWN / 残布を使ったバリエーション豊富な6種のエコバッグを発売



ヴィンテージアイテムをインスピレーション源に、クラフトワークや独創的なデザインをモダンに落とし込む「LILY BROWN」。同ブランドでは、サステナブルな取り組みとして、服作りの過程で出た残布を使ったエコバッグを発売。シックな花柄からドット、無地まで、バリエーション豊富な6種の柄を取り揃える。小ぶりなロゴがアクセントのバッグは、間口のリボンを調整することでシルエットの変化を楽しむことも！ カジュアルなシーンで、オールマイティに活躍する。

ショップ名 LILY BROWN
お問合わせ先 03-6809-0623

UPCYCLE ECO BAG 各¥2,750

<5F : NEXT TOKYO>

■ 5F・NORDISK CAMP SUPPLY STORE SHIBUYA / 「F/CE.」原点回帰の“モロッコ”へ



北欧発アウトドアブランド「NORDISK」のオフィシャルコンセプトストアでは、人気のテントやイクイップメントとともに、自然とも好相性のアパレルや厳選されたハイクオリティなギアを提案。アパレルブランド「F/CE.」の22SSコレクションもいち早く並ぶ。モロッコと“Ephemerality（一時性）”をテーマにした今シーズンは、サハラ砂漠の絶え間なく変化するパターンやテクスチャー、Joujouka音楽のリズムとエネルギー、ベルベル人の遊牧民としての習慣などからインスパイア。たて糸にリサイクルポリエステルを打ち込んだオーバーサイズのシャツや、モロッコラグから着想を得たりサイクル素材のジャカードトップスなど、機能性にもデザイン性にも妥協のない、環境配慮型のアイテムに出会うことができる。

ショップ名：NORDISK CAMP SUPPLY STORE SHIBUYA
お問合わせ先：03-6416-1033

■ 5F・ogawa GRAND lodge / 希少性の高い、人気アーカイブテントの即売会が開催



「キャンプをライフスタイルに」をコンセプトに、初心者から上級者まで楽しめるアウトドアを知識豊富なスタッフが提案してくれる「ogawa GRAND lodge」。同店では期間中に、すでに廃盤になったテントのアーカイブ展を開催。「ネオキャンビン」など、惜しくも生産が終了してしまった人気型番のテントを一堂にチェックでき、即売会も開催される。気持ちが外に向かう春、お気に入りのギアとともに、新しいキャンプライフをスタートしたい。

ショップ名：ogawa GRAND lodge
お問合わせ先：03-6455-2013

【参考資料】

■ 5F・TiCTAC update／ヴィンテージから新素材まで、豊富なウォッチコレクションを展開



腕時計のセレクトショップ「TiCTAC update」では、サステナブルな取り組みとしてヴィンテージウォッチを展開。“受け継ぐ人の心”まで繋ぐハイブランドのアイテムからは、一流のデザイン性や職人技をも感じ取ることができる。また、オリジナルブランド「SPICA」とフラワーブランド「gui」のコラボレーションで、廃棄予定の有機リンゴの皮を使った“アップルスキン”の新ウォッチを発売。ダイヤルにはエレガントなプリザードフラワーを閉じ込め、フラワーボックスも特別に付属する。さらに店頭でのショッパーには、再生紙を使用。つい再利用したくなるポップなデザインにもこだわり、ショッピングのその後まで楽しめる。

ショップ名 TiCTAC update
お問合わせ先 03-3464-9009

<7F : RESTAURANT SEVEN>

■ 7F・FALAFEL BROTHERS／ギルトフリーなのにボリューム満点な名物“ファラフェル”



「FALAFEL BROTHERS」は、イスラエル発のヴィーガン料理専門店。中でも、看板メニューの揚げたてサクサクの“ファラフェル”は、茹でたひよこ豆を使ったヘルシーかつボリューム満点のファストフードとして、日本でも注目を集めている。食欲をそそるスパイシーなフムスプレートやサラダボウルなど、全メニューが植物性食品100%で作られているため、ギルトフリーなものも嬉しい。カフェメニューには、グルテンフリーのスイーツもラインナップする。
(写真) プラザーズサンドイッチ 各 ¥550

ショップ名 FALAFEL BROTHERS
お問合わせ先 03-5422-3188

<B1F : CHAOS KITCHEN>

■ B1F・ヴィーガン居酒屋「真さか」／思わず「まさか！」驚きの全方位ヴィーガンメニュー



昭和レトロな佇まいのヴィーガン居酒屋「真さか」では、大豆ミートを使った餃子や唐揚げ、レモンサワーを提供。昼は選べる定食セット、夜はお酒を片手に小皿料理をつまみながら、シーンを問わずに多用途で楽しめる。マイバッグやマイ箸の歓迎、生ごみ量25%の削減目標など、同店が掲げる「エシカル宣言10ヶ条」では環境負荷の軽減にも貢献。大豆ミートをはじめとする植物性食材のみを使用した全メニューは、ヴィーガンの人も「まさか！」と驚き、通い詰めるほどの味わい、ボリューム、価格の3拍子が揃う。
(左) 昼定食 餃子・唐揚げミックス ¥1,100 (右) 昼定食 唐揚げ ¥1,000

ショップ名：ヴィーガン居酒屋「真さか」
お問合わせ先：03-5422-3020

【参考資料】

■ B1F・極味や／A5等級の切り落とし伊万里牛を数量限定・特別価格で提供



福岡発の名物ハンバーグが楽しめる「極味や」では期間中、伊万里牛の切り落としを数量限定・特別価格で提供。フードロス削減の一環として、ステーキ肉を成形する際に出る端材を一皿にした。これまで見た目やサイズの問題だけで提供していなかったという肉は、厳選したA5等級の上質な肉質と甘みを堪能することが可能。熱々の鉄板にのせ、好みの焼き加減で楽しむことができる。全席カウンタースタイルで、おひとりさまでも気軽に立ち寄れるのも嬉しい。

(写真) A5等級厳選伊万里牛の切り落とし ¥1,419 (数量限定)

ショップ名 極味や

お問い合わせ先 03-5422-3122

■ B1F・米とサーカス／食用昆虫のマゴツが新メニューとして登場



環境負荷が少なく、栄養価も高いことで注目される昆虫食。先入観を持たずに多様な食文化に触れられる「米とサーカス」では、大豆から豆腐を製造する過程で廃棄されてしまうオカラを使って育てられたマゴツ（イエバエの幼虫）を使ったユニークなメニューがバリエーション豊富に登場。数量限定の「マゴツの薄焼きミニピザ」は、マゴツ100匹ほどを生地にまぶし、さらにチーズの上からも乾燥マゴツをトッピングした、おつまみにもぴったりの1品。「マゴツ入り 7種の昆虫食べ比べセット」では、その日の入荷状況に合わせてマゴツ+タガメやイナゴ、コオロギなどを味わえる。また、「マゴツと豆のキーマカレー」も数量限定でラインナップ。聞くだけでは想像できない昆虫食の魅力、ぜひお店で体験したい。

(左) マゴツ入り 7種の昆虫食べ比べセット ¥2,180

(右) マゴツの薄焼きミニピザ ¥900

ショップ名：米とサーカス

お問い合わせ先：03-6416-5850

【参考資料】

■ B1F・Jikasei MENSHO / ロス食材を使用した濃厚スープの野菜ラーメン「VGKO」



「Jikasei MENSHO」では、フードロス削減の商品として「VGKO(ヴィーガンガーリックロックアウト)」を提供。単に見栄えが良くなく、そのまま提供できない野菜や、カット後に余る野菜の端材を麺庄グループ内で集めて、スープの食材に使用している。さまざまな種類の野菜から取ったスープは、濃厚な仕上がり。美味しく食すことで、飲食業界のフードロスという大きな社会問題に貢献できる。

(写真) VGKO(ヴィーガンガーリックロックアウト) ¥990

ショップ名：Jikasei MENSHO
お問い合わせ先：03-5489-3880

主催：渋谷ファッションウィーク、共催：渋谷パルコ
※本企画は渋谷ファッションウィークが参画する東京クリエイティブサロンの一環として開催いたします

【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：日出・岸本・西野
E-mail：parco@vectorinc.co.jp TEL：03-6821-5730 FAX：03-5572-6065

株式会社パルコ 渋谷店営業課 深見 fuka-sayu@parco.jp
※各ブランドの画像をご使用の場合にはご連絡頂きますようお願い致します